

学校名 羽生市立羽生南小学校
所在地 羽生市南6丁目5番地1
電話 048-562-1901

1 本校の概要

本校は児童数 326 名、各学年 2 クラスと特別支援学級 3 クラス、計 15 クラスの学校である。学校教育目標を「地域とふれあい 人につくす」とし、その具現化に向けた教育活動を行っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・言語活動の充実を図る取組
- ・家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア 家読の日・読書郵便

毎月、月初めの金・土・日曜日を「家読の日」とし、家の人と読書をする。同じ本を一緒に読んだり、異なる本を同じ時間に読んだりする。「読書郵便」とは、本を読んだ感想を交流する手紙のことで、自分が読んだ本についての感想やおすそめを書き、本と一緒に郵便を渡し、返事を書いてもらう。月 1 回のペースで実施し、1 学期は親子で、2～3 学期は友達と行っている。

市内の小学校とも交流を行った。



イ ビブリオバトル

ビブリオバトルとは、お気に入りの本を紹介し合うゲームのことで、「知的書評合戦」とも呼ばれている。



本校では、学期に 1 回実施している。紹介したい本を決めて、班、クラスの順でチャンプ本を選び、低・中・高のブロックごとにビブリオバトル集会を開催している。

なお、集会の司会進行、掲示等は図書委員会児童が行っている。今年度は、教師もビブリオバトルを行った。



ウ お話会・ブックトーク

読み聞かせボランティア、図書委員会児童が読み聞かせを行っている。ブックトークは市立図書館職員が 3 年生を対象にクラスごとに 1 回行う。ブックトークの後は、市立図書館職員が選んだ本を 30 冊ほど借りることができる。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア 読書郵便やビブリオバトルへの取組により読解力や表現力の向上に繋がった。
- イ ビブリオバトルの実践により表現力やコミュニケーション能力が向上した。

(2) 課題

- ア 今後は、調べ学習の充実を図り情報検索・活用能力等も向上させていく。
- イ 読書郵便の輪を市内に広げていく。

(3) おわりに

今後も児童の実態に合った活動を充実させ、読書活動の質を高めていきたい。